

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2010.9.15 No. 84 連絡先 FAX 042-555-1911



## アメリカ政府 オスプレイの日本配備を明言

アメリカ国防総省のモレル報道官は9月9日の記者会見で、海兵隊の垂直離着陸輸送機 MV22 オスプレイについて「日本の基地に配備する予定だ」と明言しました。

アメリカ政府がオスプレイの日本配備を公式に認めたのは初めてです。同報道官は、オスプレイの配備予定を「日本政府に伝達している」ことも明らかにしました。

アメリカ政府は普天間基地の代替施設への配備を念頭に置いているものの、県内では反発の声が強く、配備場所や時期については「これから決定される」と述べるにとどまりました。

オスプレイ配備を日本政府に伝達していることが明らかになったことについて名護市の稲嶺進市長は10日、日本政府の対応は「とても許せるものではない」と批判しました。

オスプレイは、開発・試験段階で墜落事故を繰り返し、多数の死者を出しています。

## 2011年度 航空自衛隊横田基地(仮称)が新設！(新着情報より)

◆週刊『WING』紙9月8日号に掲載の横田基地に関する情報

航空自衛隊航空総隊司令部が2011年度に府中基地から米軍横田基地に移転するのに伴って、航空自衛隊横田基地(仮称)を新設する。移転する部隊は航空総隊司令部と防空指揮群、作戦情報隊で、基地機能として横田気象隊(仮称)、横田地方警務隊(仮称)が新編される予定。人員は約800人規模。また、弾道ミサイル防衛指揮官でもある航空総隊司令官の指揮の中段を防ぐため、航空総隊副司令官(仮称)を新設する。その任務の重要性から階級は空将の予定。

◆日米エアフォース友好協会(5月)での、在日米軍副司令官・アンジェラ少将の話

「更に意義深いものとして、航空総隊司令部の横田基地への移転があります。

東アジアにおける弾道ミサイル能力の増大と脅威及び、地域内の他の国々の急速な航空戦力と防空能力の近代化を見るとき、信頼性のある抑止力維持のために、強化した防衛能力と相互運用性が航空自衛隊と空軍に必要であります。

同様に大事なことは、約1,400人の航空自衛隊員が新しく隣人となることによって、個人レベルにおけるより良好な関係構築の機会が日米両国に与えられることでもあります。」

空自の横田移転は800人なのか1400人なのか、横田基地はどう変わるのか注目しましょう。

## 沖縄とともに声をあげよう 横田基地もいらない！

10.9 市民交流集会 会場：福生市民会館大ホール (JR 青梅線牛浜駅下車)

11時 『流血の記録 砂川』上映(約1時間)

13時 ・三線演奏で沖縄音楽を楽しむ

- ・講演「沖縄からの直言」滝本匠(たくみ)氏・琉球新報記者
- ・地域からの活動報告 ・デモ行進 福生駅近くまで

ご参加を



## 岩国市の市道で 米軍岩国基地の軍属にはねられ男性死亡 (No. 84 の裏面)

岩国警察署によると 9 月 7 日午前 7 時 10 分頃、近くに住む無職の恩田美雄さん 66 歳が道路を歩いて渡ろうとしたところ走ってきた乗用車にはねられ、全身を強く打って病院に運ばれましたがまもなく死亡しました。警察は乗用車を運転していた米軍岩国基地の軍属の女、ジェイミー・M・ウォレス容疑者 32 歳を自動車運転過失傷害の疑いで現行犯逮捕しました。

ウォレス容疑者は米軍岩国基地で福利厚生部の人事担当の仕事をしていて基地の外にある住居から基地に出勤する途中でした。亡くなった恩田さんは地元自治会の自治会長を務め、愛宕山の米軍住宅化に反対する住民団体にも入っていました。恩田さんは畑から自宅に戻る途中に事故にあったものと見られています。地元の方の話では、はねた米軍属は、車から降りてこようとしなかったのが、逃げられたらいけないと思い、みんなで車を囲ったそうです。愛宕山の米軍住宅化が大問題になっています。米軍基地強化は、このような事故が増えるだけです。

## 横浜港を米海兵隊実弾訓練の中継拠点にするな 労組や平和団体が抗議・監視行動

(神奈川ピースメールより) 9 月 4 日、米海兵隊と演習物資を載せた



ウェストパック号は、午後 5 時半頃、ノースドックに着岸した。5 時 50 分頃から 6 時半頃まで戦闘車両や 155 mm りゅう弾砲などの積みおろし作業をした。横浜ノースドック基地問題懇談会に参加する横浜労連・横浜市従・港湾労協・などの労組と平和委員会は、午後 5 時半から海上での監視行動と午後 8 時から搬出口となる村雨橋前で抗議・監視行動を行った。米海兵隊は、9 月 10 日から 23 日まで東富士演習場で実弾射撃訓練を実施する。(写真：海上から抗議の監視行動をする参加者。神奈川平和委員会提供)

## 9.10 ~ 23 東富士演習場で沖縄県道104号越え実弾砲撃訓練の 県外移転訓練

東富士演習場で実施する予定の実弾射撃訓練には、在沖海兵隊 1 個大隊約 390 人と 155 mm りゅう弾砲 12 門、車両約 90 両が参加します。最近の訓練は米軍再編の動きのなかで司令部部隊による指揮・統制演習が実施されるなど、軍事作戦を想定した内容になっているそうです。

## 米軍が負担すべき米軍訓練費用を 日本政府が大盤振る舞いしている！

米軍の訓練・演習は、米軍の戦闘能力を高めるものなので米軍が費用を負担するのが当然です。外務省も「訓練、演習そのものの経費は、米軍が負担すべきもの」と説明していました。ところが…

**思いやり予算**…米政府は米空母艦載機などの NLP (夜間離発着訓練) など周辺住民との軋轢が強まるなか、硫黄島に訓練を移転します。日本政府はアメリカ政府の要求にこたえて、硫黄島への「訓練移転費」の負担に応じました。1996 年度からで、2006 年度までは 4 億円でした。

**SACO 関連経費**… 1997 年度から沖縄の負担軽減という理由をつけて、沖縄県道 104 号越えの米海兵隊の実弾砲撃訓練の県外 (北海道・矢臼別、宮城県・王城寺原、静岡県・東富士、山梨県・北富士、大分県・日出生台) 移転訓練を実施

しています。(表の金額は契約ベース)

**米軍再編関連経費**…沖縄・嘉手納飛行場等所在米軍機の本土への訓練移転として予算を組んでいます。移転先となった基地内に米軍専用の施設が次々つくられています。(2007、2008 年度は契約ベース)

(表は防衛省予算 HP をもとに作成)

	思いやり予算：硫黄島への訓練移転	SACO：県道 104 号越え訓練県外へ	米軍再編：嘉手納米軍機訓練本土へ
2007 年度	5 億円	17 億 9300 万円	3 億 7300 万円
2008 年度	5 億円	16 億 8400 万円	58 億 2900 万円
2009 年度	6 億円	22 億 1200 万円	8 億 5600 万円
2010 年度	5 億円	19 億 9900 万円	8 億 4700 万円